

獲魚全日誌

大正七年十一月
中迄起筆
至大正八年
月

特別

14

1919

576

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

176841

雙魚堂日記

大正七年十一月十七日以降

十一月

十七日

雨、文の場屋より移来を余の意長生の記に於て
 三十八番地、物多こと決定に於て今も四村を
 振き其の指回を為す、本の上院不思井天
 堂生池院に於て余内田資物田を有する
 善地地、坊内唯新地とあり、瑞玉積
 懸屋より為り各々を修り集めたる瑞書



唐陽名倉と偕する者百十餘人を遣行くと出
陳國者三万程地内三分の一を攻むと承ふ
安田若しくは他初回雖もや出陣の所瑞に攻む
このころ、中守さうらぬ者数に名をい
未親有り日没後迄は警備に在りてあり
文求中中其又さうらぬと白むるの寸紙印請
と賜ふ、陳列者目を作懸する以て其
用のゆゑに年々田少きもの所心を交付す
如何なるゆ書、外出中、其由早書其由
通旨あり

十八日

兩城は悉く北城部族の最尾星哈世垣
走田を任の係を移す、亦す、市村
英龍、東、田村、文の協名の件、其
法、術、伯、叔、也、取、治、り、法、生、命、保、防、採
と此部族を責めつとすと勧めて去
る、前、倉、守、り、及、の、退、次、に、事、あり
この八段料、若干の午を交付
す、午後、法、中、の、退、を、治、の、を、若、し、法、の、
朝、会、を、お、う、と、す、珍、を、二、程、と、治、会
今、秋、滿、所、通、生、に、方、設、法、常、法、を、

多田中田の古妻のつとね取文の場を奉
毫のつとねと依乾す

十六。

明、柏原文をり、母を云に打梅状を送る、
依向取取に事功其勤め事とてり、
坐落株二十、去去印に決し、株芳を
交付す、向余名義の五株、残り分賣の
名義に切換と乾す、打井古兵衛者
をかし、場内名に、田八、平風、掃乾
、しつと依乾す、田代亮、女、古原村、在

木茂をり、事功、高向、山陽者、株二
、其旨のめ、事功、其に、厚心と判し、一、
、其旨、午後、坂に、五、事功、の、事、と、決、め、
、乾、す、六、坊、名、三、者、を、送、る、。

二十。

明、庭前、の、水、葉、燃、ん、と、す、紙、取、捕、玉、し、
、石、塚、之、中、に、五、十、分、位、土、地、の、件、事、計、算、
、其、と、送、り、事、功、、在、朝、鮮、解、受、内、五、次、を、立、
、者、大、工、を、招、き、事、功、事、功、一、陽、に、ピア、を、振、
、休、け、の、手、配、と、為、す、和、田、准、守、印、石、家、

三印にちれをきり。園ちらしし。来者
えぬ。ゆり日え。海をこ。音、郵ををきり。
心王たるよ。原共。心し。山芋。山る。念老
函。中山の。か。洋。造。一。し。鱧の。味。ゆ。法。を
贈らる。凡。中。の。氣。味。あり。終。日。家。子。

二十一日

昨、平和を執する。以て。え。事。事。全。年。三。日。百。件。事
を。初。也。山。田。法。法。来。法。た。ゆ。と。大。隈。師
に。今。一。美。事。事。の。法。へ。心。を。前。に。引。つ。て。き
整。減。す。終。に。大。隈。法。と。而。し。交。換。の。決。定

東本園

と。為。す。一。回。方。隈。師。に。午。前。の。細。心。を。受。け
午。後。も。出。陣。印。に。於。て。本。年。分。の。決。算
と。組。織。再。更。の。件。を。決。し。ゆ。書。和。田。維
田。印。を。訪。方。の。録。二。帳。を。贈。る。福。家
山。花。主。出。出。え。山。の。野。を。寸。路。を。瓶。史
を。贈。る。事。も。又。内。田。貴。を。寸。路。法。を。批
る。一。以。美。法。を。贈。る。真。島。久。仁。子
物。事。あり。白。菜。を。贈。る。か。洋。造。一。し
来。者。和。田。山。洋。福。家。内。田。有。五。冠。贈。え。以
る。もの。に。あ。し。し。る。く。種。物。を。あ。り。あ。り。と。津
島。三。の。の。し。し。来。者

二十百

時、後西、並木や林望とて、田村家三郎と耳
次、高橋義彦とて、母者、珠姫とて、唐
を才助左衛門外とて、年、出遊、
田の古底より四五の古を懸、小波のり里
洲津館（正月百午のり）の案あり、法
百田徳十三回忌（井古四谷西念寺）あり、
才助、熱海抱えんと、干魚と、
古女、湯川、
梅、
然

二十三

西宮、板心、
正午、出遊、
ひ、
大工、
併、
に

二十百

時、文の、
田村、
我の

件二のきし才三四の尺、法と大徳印二つあり
十二の切書、石在中、奥の雲持、東切
果物を納め、又海に奉次、高田、徳士、東
切あり、海に交り、中身あり、午後、改と、高
才切、北、細の、佐上、巻を、成り、古、切
位、城、場、の、敷、一、と、才、物、を、成り、古、切、と、和、五
峰と、毒、坂、花、家、に、持、り、杯、を、成り、古、切、の、法
の、成り、と、祝、す、洋、更、切、書、和、白、菊、古、切、
と、徳、大、り、と、成り、才、物

廿号

此、廣、井、一、と、才、物、を、成り、古、切、と、和、五、田、村、を、成り、古、切、
今の、為、金、五、り、白、引、出、す、毒、坂、地、又、切、り、
我、麻、崎、則、順、東、切、書、海、内、道、と、成り、古、切、
同、切、早、神、の、出、身、枝、反、葉、中、と、美、術、研
究、の、件、を、成り、古、切、と、和、五、切、し、午、切、
と、成り、古、切、と、和、五、切、し、午、切、と、和、五、
高、田、切、と、和、五、切、し、午、切、と、和、五、
西、切、と、和、五、切、し、午、切、と、和、五、
和、切、と、和、五、切、し、午、切、と、和、五、
北、切、と、和、五、切、し、午、切、と、和、五、
く、和、五、切、し、午、切、と、和、五、

井ノ方

明、程、行、家、八、信、向、其、心、場、子、善、て、印、小
田、崎、産、産、方、一、其、功、高、格、義、産、を、其
者、出、物、部、と、も、配、中、を、以、方、公、サ、給
同、更、元、主、給、と、多、サ、給、多、サ、其、十、四
也、是、即、富、所、附、其、功、之、方、以、年、比、紙
其、情、之、揚、感、了、ん、き、世、界、大、敵、意、の
細、と、に、授、筆、録、中、一、し、以、北、米、ら、と、其
者、今、井、孫、市、の、派、列、る、書、文、の、場
合、予、孫、市、と、余、の、意、は、心、牛、之、亦、各
所、之、揚、揚、す、文、の、場、合、と、ま、ま、其、る、因、機

山、幸、生、主、臣、流、の、方、古、撰、作、事、一、も、も、
如、り、と、其、文、事、を、其、の、つ、致、に、其、し
又、之、推、お、る、所、あり、所、号、の、為、出、産、を、其、し
城、曰、高、格、義、産、ら、と、中、心、格、産、を、淵、鑑
類、画、る、六、十、冊、と、購、入、本、未、著、る、人、は
天、極、價、三、十、一、日、給、也

二十七の

明、又、つ、名、義、を、郵、船、合、此、格、考、六、刻、に
而、決、定、る、五、十、四、也、領、事、長、の、親、戚、七、井
岡、市、に、云、く、其、梅、判、並、に、其、考、と、其、也、

廿九日、新井上辰丸申上候、内藤久寛の
印に根ころ、九時ころに實業多我印接、
謝し、集居より信房あり、十一時ころに
印形多死の重級多に信みり、反印電
者井一多治、又、実業多我、板長松
山、松子鈴木、東物、多り、前大出印、
派の決定より、實業多我、派の現
田者、余、松、多、の、松、木、執、事、と
ころ、余、口、授、松、木、執、事、と、り、印
別、多、此、松、余、と、社、長、と、り、の、件、主
役、側、松、執、事、派、の、上、実、業、多、我、と、り、こ、と、

ころ、新井、兵衛、と、り、取、方、内、田、と、り、
と、り、松、木、執、事、と、り、内、田、と、り、
と、り、安、藤、鑄、と、り、取、方、尾、州、大、山、と、り、
田、者、五、郎、と、り、取、方、と、り、

林分

内、松、院、十、七、日、十、日、納、付、高、橋、義、彦
と、り、内、田、と、り、松、木、執、事、と、り、
と、り、十二月二日、松、木、執、事、と、り、
松、木、執、事、と、り、中、森、脚、美、村、田、村、宗、と、り、
印、市、河、三、陽、文、と、り、取、方、高、橋、義、彦

とらふ年者、高橋附する大蔵意、の報前同
引續きに授けし、記せしむ、午後出遊、
のち地と功の二三の回者を辨るる、
高橋堀居の子孫を功を授け分す大
階家も久原に居し地堀居するの由
附の与る如き、高橋義彦と、
鮎の味、
鮎の味、

井者

晴風、素雨田村すう、又の堀居の件、白堀
堀り、毒蛇又やうすあゆ寸珍を一部を賜る

山の所尾すう、高橋堀居を和老を、
山に早稲有る字、高橋とすう、
波記一、すう、法、市河三陽とすう、
伯羽心、托し、の、高橋、
株九十七、
堀り、二、
、
日、
子也、
の、

時子自動車と戯れ井上居りとの
指差接見の心付麻布披木
可内多入竟と仰合し愛念の御
多計就後妖狐任濁の怪と為す不在
増子自湯

三十日

晴五来吹送為向高之其功又並木竟
森崎美樹と長崎の方々の協会の件と
協議し午後二時より言葉我給本特
るす来談其時於談しとす未味湯

是指と為す午後出遊 於此眼後の
終現と乾文指直に飲し秋田の方
回方を梅ろくす、打も方産高橋
義彦回方代る白拂馬馬生功之
の由件も其功植木即手胡安十
五の拂

○十二月

一日

昨、清兵養次、其泊城、由、余、辭、任、の、意、
 後、任、と、起、清、し、じ、ま、す、高、分、其、意、に、任、す、
 事、と、せ、り、左、の、如、し、三、枝、口、定、二、分、し、其、業、
 是、日、其、紛、擾、の、筋、目、の、事、に、漸、次、十、二、の、
 刻、に、午、後、し、し、大、阪、陣、に、文、の、場、合、の、茶、
 流、合、を、行、は、し、瑞、典、公、使、内、田、定、植、二、所、
 方、に、臨、み、大、阪、外、交、と、流、し、大、阪、侯、又、一、
 坊、の、洋、流、を、行、余、其、後、に、其、意、を、其、
 助、と、清、兵、の、流、流、を、為、す、其、日、其、意、を、

三十一日許、右方の決定を
し、協会の大及保衛次中、大改らんとす
り、お出り来た物も、估伯叔
此に物と認め、湯津吉印を、寺守の

二〇

由、在葉と断初此の旨、見事とす
且、結と送り、同表に、河内、徳島、高知、四
身、隈、下、有、名、三、照、多、就、を、お、お、り、協、会、の
田、村、某、ある、事、を、お、お、り、千、九、百、二、十、四、年、迄、の
の、印、を、扱、す、(協、会、の、分、冊、其、原、平、に、有、り)

此と、お、お、り、右、の、旨、を、美、事、其、の、扱、の、往
お、お、り、届、に、伝、へ、し、し、り、天、明、に、出、立、所、に
係、の、定、義、平、儀、を、執、き、此、の、旨、を、お、お、り、
決定を、お、お、り、散、す、余、は、出、立、所、に、係、り、
係、り、ある、事、を、お、お、り、し、り、上、り、由、中、に、係、り、
津、村、山、崎、子、才、匠、に、お、お、り、し、り、す、事、に、お、
す、り、方、案、を、協、会、に、お、お、り、し、り、し、由、と、お、
二、日、本、民、族、的、代、史、海、軍、系、の、件、に、お、
添、減、し、四、的、物、も、お、お、り、し、り、し、り、子、定、業、
前、扱、の、係、り、を、お、お、り、し、り、し、り、し、り、し、り、し、
去、り、扱、に、上、峰、を、お、お、り、し、り、し、り、し、り、し、り、し、

政も海の古田島に地の江列る、高き山を抜
紐の東端四村大久保米次り、
文に其の正午、この場子のうを鑑知る
山向は少くも、後へ、遠く電音の、
とある、高き山を抜る、
の千あり、午後出ると、
同者を通り、村の古田、
新地を抜る、田の回り、
飯とてうらむ。

政、林業政もし、買受け、
高、振付、賃する、
文のり、と、
場子の件を流し、
奥木木、
美高島の、
中、
いつと、
其に、
印とて、

厨一、橋の代目定名をあるく、行通如
状を印刷あり、頼正、石井、石井上、辰
太郎、古状と見えず、又的橋合名者
生来由也、ちり田中、宅の合名、いふ所
目とある、大村、辰、ちり、橋、山、後、次、中
古、草、也、ちり印刷合名、就、重、級、合、名、
拾、本、功、能、能、南、老、刻、二、合、と、決、ま、又、社、長
と、重、く、件、と、決、ま、涉、地、境、一、り、(十、四
田、中、丸、(五、五、田、堀、合、名、一、寄、附、の、一、也、
田、大、ら、一、り、或、者、往、村、宗、八、湯、川、寺、次、中
寺、下、の

七日

此、其、源、流、地、域、の、系、久、竟、一、方、状、を、表、分、る、
一、橋、の、定、名、合、名、三、十、名、名、こ、う、河、合、名、通、合、
者、七、り、合、名、湯、使、田、村、上、合、名、寺、下、合、名、
津、八、一、り、と、来、者、一、り、就、定、名、合、名、合、名、
持、負、合、名、あり、堀、子、こ、合、名、就、別、と、表、分、し、
此、寺、下、十、の、こ、合、出、村、口、珠、瑠、合、名、又
水、堂、寺、下、を、歴、ゆ、一、七、数、十、部、の、者、
と、踏、の、田、代、合、名、合、名、と、寺、下、合、名、合、名、

杉山前我長能本前將より町部増あり又
町より往り凝成り、在終りて早稲田の出
頭部を精式御成に有る事件、廿一日
十日に我維野長令に於て可決し、報
告をせりし、其の事、平治の中、延
令惟委ありし、本部、往り、増成し
午後、物事、向ふ、之間し、改之、以、成
り、改刻、費、補、ゆ、至、其、事、由、り、受、く、
其の、横、の、子、務、人、難、波、理、一、中、り、多、成、
、出、野、二、つ、き、其、物、在、成、の、お、合、を、お、し
、二、三、日、片、た、り、山、前、司、町、高、能、甲、り、不、在

中、事、治、策、の、因、難、に、し、り、し、し、し、洋、酒、本
打、を、治、し、し、又、昆、山、の、物、を、治、し、し、
泥、路、車、を、記、り、文、求、本、部、に、琳、珉、各、二、回
書、を、送、り、し、た、り、又、り、物、事、也、其、以、行、成、り、し
梨、果、果、七、色、色、利、本

十三〇

明、治、三、年、右、町、高、松、甲、町、東、功、湯、袋、本、部
事、に、本、部、美、村、場、合、の、事、務、に、付、本、部
琳、珉、各、一、考、物、代、二、十、五、日、拂、兩、蔵、貯、蔵、田
用、の、内、込、る、田、由、子、に、改、す、和、久、本、部、り
於、前、魁、三、尾、貯、り、事、に、改、し、五、年、に、了

其考、午後出たる御田の考坊：雑考を辨
ふ、村七考、春、自、又二十三日、御神馬、七
知、増、四、表、其、に、振、主、丸、香、雪、軒、：、飲、心
方、四、坊、内、の、中、吃、大、山、都、夫、同、家、

十考

御所、増子、十、七、市、定、業、号、扱、り、件、：、并、其、流
高、橋、頭、三、十、五、の、物、を、給、与、：、雪、茶、七、考、
至、二、十、四、郵、送、：、増子、に、至、五、十、四、也、海、
傍、り、女、伊、仲、こ、し、性、年、借、入、主、の、利、子、に、
こ、す、こ、と、海、島、：、素、脚、車、の、別、来、表、其、集、の

結果を報し七云、午後市中に出て回考を
講、ゆ、五、の、ゆ、し、余、等、子、を、一、つ、橋、時、代、同、志、を
四、考、三、河、原、に、ゆ、り、し、牛、の、肉、骨、を、買、い、其、考
者、十、五、考、在、切、毛、後、初、の、番、吉、石、井、政、主、に
り、来、考、。此、の、場、合、に、三、考、所、新、報、古、河、男
外、二、人、を、こ、こ、午、の、三、考、決、定、。喝、を、い、く
二十三日、六、午、考、抄、

十考

十一考

頃、石、井、政、主、初、の、番、吉、石、井、政、主、を、見、ら、。後、合
在、電、燈、料、高、の、由、一、つ、三、考、十、八、の、五、十、考、
抄、後、抄、は、好、考、也、一、つ、五、考、十、八、の、五、十、考、

十のりも廿也を伴名神のちと物を贈ひ又
根産に出して二三のちと贈ひ杉五に飯し
是事飯の流初言をを親行するのち也

十七

此地地は段は多難の至福と校す山向
は伊能寺の、付を文の師合する語名に列り
少るを知らし且つ多難の合機を定むる(夜)
相保居る人の入る、危樹を捨す、四五
の樹木に手巾を被る、午後又大霧を
おぼれを校す、今秋大豊行考、西又保弘道

等と丸：高向山峰に祝う、位常自動
車より三宮より同乗して行く、自天取
：依み樹幹切也。

十七

雪元陰野村真喜樂也し、其山位城、ち
松ともゆ、杉山常義行村家ハ森海
美樹文に書る、正午一由多とせ、
中、行きお子松店と親、全田に
飯し、深谷屋に洲飯、既外村籠、
者と贈り、ゆ路六、瑞珠、各に三宮あり

遊方と贈る之、如賢、能の元を云
丹波の杉木必く、梨果一函列す、

十九

竹、山の所、尾林、珠、東、流、大、致、去、お、報、給、
を、修、め、し、地、紙、竹、報、給、く、様、主、愛、相、合、
と、し、人、ま、う、之、庭、樹、に、于、南、を、加、お、煙、山、
を、大、り、し、と、東、者、植、木、を、東、り、杉、村、に、
を、寄、り、し、對、雪、の、于、南、を、あ、す、其、時、典、二、
と、白、菜、を、贈、る、海、を、ま、う、と、し、東、者

十九

竹、山、の、所、尾、林、珠、東、流、大、致、去、お、報、給、の
年、後、信、ち、新、う、す、十、時、も、し、出、版、部、に、到、り、
東、者、の、ち、う、典、を、部、主、に、其、の、後、出、版、
部、の、株、主、流、居、を、あ、ら、う、出、版、部、を、株、主、
以、て、之、を、買、下、す、親、之、の、令、派、也、と、い、は、
と、あ、ら、う、出、版、部、の、主、に、切、断、し、と、い、は、
時、柱、考、束、流、居、を、あ、ら、う、流、居、北、派、の
東、者、も、ち、う、行、信、使、の、電、報、到、り、出、
版、部、に、中、原、を、原、氏、が、修、三、十、冊、を
贈、る、

出敗部、往來五萬圓の区名組合よりし高
合分十萬圓の株式を社とし、社名を五
早稲田とす。出敗部と呼ぶこと、吾輩と社
し、往來二割の利息を出し居り
しう、此の利益を生ずる株ニ業の
と吾輩に献し、吾輩も株とすること
とす、部名高田とす、余輩の
高田北全副社とす、吾輩の
伴行高田後部、吾輩十久江田
中、お酒後、吾輩、吾輩と代
し、吾輩、吾輩、吾輩、吾輩

権者と決す、往來五萬圓の区名
の株式を死する、とす、株と
お酒、吾輩、吾輩、吾輩、吾輩
も株式を死の区名とす、吾輩
し、吾輩、吾輩、吾輩、吾輩
十、即ち七午、吾輩、吾輩、吾輩、吾輩、
の区名、吾輩、吾輩、吾輩、吾輩、
新し、吾輩

二十〇

雨、来陽美村より、協合部より、吾輩

心算場、高橋義彦を以て林野入奉を被
し奉る、又水舟と物のを、高田清久、伊
三十四、柳、更々、越士、高田、清、舟、と
購らるる、午後又火と共に出渡紀を
こ物と購らる、こア、候儀成ふ、十日拂

二十三

雪降の後雨、湯候を申田村、森、師、来、る、日
清田、刷、能、与、(る十七日、三十一日、十、日、二、日、清
七、云、候、合、し、し、十、日、算、算、福、徳、と、を
奉、九、高、橋、義、彦、出、奉、奉、奉、功、許、七、日、田、此

尾、高、橋、保、一、申、奉、入、外、主、田、清、士、他、念、碑、
遠、行、り、し、と、と、協、儀、し、日、午、祭、を、奉、る、奉、
一、時、祭、を、奉、る、奉、り、清、田、刷、能、合、社、と、和、り、
賜、入、一、日、と、奉、り、し、七、社、長、就、任、の、後、祭、
を、奉、り、日、の、早、祭、奉、り、の、奉、り、を、奉、り、候、儀、
候、申、奉、り、し、是、日、清、田、刷、能、の、清、去、る、高、橋、
義、彦、氏、之、申、奉、り、を、奉、り、候、儀、入、る、ら、候、儀、
奉、り、高、橋、義、彦、氏、と、前、申、上、地、婚、入、り、
節、儀、奉、り、文、の、申、奉、り、由、る、申、奉、り、又、改、此、の、
為、申、奉、り、申、奉、り、之、更、申、奉、り、申、奉、り、由、り、清、
田、刷、能、氏、と、此、儀、行、候、申、奉、り、奉、り、候、儀、

昨、在甚佳、和氣文三と申す者、南心の抄、
 降一と申す者、岩井千依、送し、言方、
 城、有、落、念、日、在、到、途、中、有、由、許、
 方、之、寄、主、路、切、是、抄、向、海、在、の
 弟、守、長、名、物、に、年、老、に、向、花、千、也、
 有、不、用、回、方、る、跡、捨、出、す、由、り、
 他、の、入、田、の、者、を、買、ん、と、す、午、後、文、的、場、
 中、務、不、に、申、す、持、部、會、を、あ、ま、く、其、身、
 計、是、果、亦、お、つ、き、步、的、台、場、城、根、の、
 散、存、城、守、者、集、至、二、萬、圓、を、
 換、く

石、立、中、能、波、比、一、申、す、者、改、
 出、果、を、換、す、物、を、今、雪、交、り、の、
 北、市、と、し、子、女、五、人、を、給、を、送、り、
 井、市、屋、と、し、雪、報、ち、う、種、美、
 此、乃、が、多、り、也、と、し、つ、き、
 來、る

廿六

此、城、の、雪、積、り、二、寸、
 折、入、今、朝、庭、園、の、
 ち、捨、す、ん、池、邊、
 の、梅、樹、折、れ、
 ぬ、故、を

先にお母様より申し、被下改印判の、此は
、昂光の更印二顆出来、江部田村其
治、此は五峯時を判る、根下中峯、鶴の子
を好く、一層井、又まう、此は比儀、而此は
御金として、金とさる、同貯る、三人、金
一、七、おる、梅井市心、も、再、改、の、電、報、判
、改、心、と、協、改、の、上、五、電、を、考、え、る、大、改、行
、考、え、る、酒、五、斗、一、を、貯、り、す、昂
、時、汗、代、金、五、十、兩、交、付、午、後、湯、料
、扱、来、淡、名、を、古、物、代、五、十、兩、拂、為、給
、所、に、廻、り、り、必、め、の、の、お、と、給、ひ、持、表、と

貯、り、て、う、る、出、改、新、湯、湯、多、う、更、三、斗
、四、出、改、部、解、教、教、事、而、く、七、川、懸、り、
、こ、ま、ん、く、若、干、金、を、配、り、余、を、五、斗
、五、斗、を、う、り、く、改、改、作、為、伊、印、河、内、各
、所、に、う、り、お、と、給、ひ、

二十七の

改、大、と、名、衆、三、斗、改、大、改、行、考、く、改、改、塩、行
、を、貯、り、改、改、五、峯、く、候、を、考、し、備、を、云、云、の、大、お
、作、造、一、層、井、一、こ、考、れ、と、考、り、難、波、理、一、印
、と、考、れ、考、れ、名、の、お、く、事、と、考、お、不、用、回

とを云ふ事あり、田村翁を仰ぐ文の協会の事あり、
帯ひたまふ、且つ方終結快達印譜を贈る
亦、中江少老名あり、二冊著しして、至十内
又、往村出野部、の傳あり、耳流、梅井市此
し、沁電利る、増田義一、約千五百と云
ふ、一云をあり、河内、廣治、印し、二十日、昔
且野、贈る、

二十八日

町、市村、葉物、耳流、如、不、奇、結、海、白、貞、歌
又、耳、ふ、春、陽、美、附、美、木、見、石、り、又、耳、ふ、

も、竹、長、筆、書、方、才、(、廣、谷、) を、根、き、洋、帖、心、雜、本
を、賣、印、す、此、後、七、十、日、也、午、後、吉、子、所、行、
支、店、と、記、の、を、傳、入、る、ま、七、十、日、五、印、由、金、
津、田、の、方、店、に、施、書、を、贈、ふ、山、を、者、店、三、
十、五、日、村、の、方、店、十、三、日、上、十、美、附、馬、

二十九日

町、賀、田、直、流、も、耳、者、平、塚、栗、を、贈、る、内、
あ、ら、も、假、事、り、お、を、贈、る、津、田、に、出、て、荒、平、
の、圖、ち、を、贈、の、り、吉、印、刷、も、此、書、伝、を、
る、二十、五、日、を、又、り、ある、こ、ん、東、一、回、の、後、

一七郎をさうし収入の回数代辨に向ける。
伊越郡方主末亡人祝成永言人清彦其弟
清の大方主又さうし又利江部清夫其弟
日印を七柱して若狭所もあに列り記す。

三十。

明、関をら一石井為忠のくも其弟石井長
男死す、其弟長興をさうし、十の弟出本、
清輝一の弟印を記す、其弟十教也。
其弟又さうし、親府に出て見めの為あを
降つてくも、不在中、其弟清彦其弟、

井上辰次郎と元七、關府清彦、其弟と記す。
んことを約す、各所も其弟を記す。
其弟又さうし、其弟清彦、其弟と記す。
且直若と記す。

三十一。

明、大江山一田村宗子、其弟清彦、其弟を
其弟又さうし、又出ろ、其弟清彦、其弟を
其弟を指し、其弟清彦、其弟を指し、其弟を
其弟清彦、其弟を指し、其弟清彦、其弟を
其弟清彦、其弟を指し、其弟清彦、其弟を
其弟清彦、其弟を指し、其弟清彦、其弟を

例のこゝろ、唯だ、家徳のこゝろ、家族、固業
一年の大勢、いそがし、床、こゝろ、志、中費の
親、衣、あり、相、え、ひ、う、け、ら、あ、う、は、い
舞、お、言、い、え、り、を、い、い、洋、こ、西、酒
樂、も、あ、り、し、い、ま、ら、い、は、い、一、年、の、古、歌、を
叙、し、る、こゝろ、た、の、か、し

大正七年日記の末に記す

本年も暮る、余一齡をかく六年とある、
毛髪を剃ると、昔に本年とある、
色し、髪を自祝せざる、昔の、将、こゝろ、来、ら
ず、い、ん、と、い、う、元、旦、の、平、和、後、初、め、の、
早、中、旦、と、い、う、世、界、別、む、こゝろ、其、ま、と、い、
こゝろ、得、さ、る、也

本年の末路を回想する、例のこゝろ、際
立ち、つゝ、重要の件、身、上、こゝろ、あ、る、
興、の、機、駭、動、の、善、後、い、ま、こゝろ、あ、る、
り、余、等、の、寛、政、も、雪、こゝろ、ん、な、う、校、紀

社長の推薦ししるるも余も更位
余の学利分社と関係するを好ま
し余の生涯に固執し密接の關係
あり余の更位ししる所以也余は
一文の状況の社長を譲ししる
分社も社長たり、来年ししる
察別を加ふんとす

号換改革の餘波として早稲田大
学出版部を株式会社と改めし
余の信置は復社長格たること
の如し但し本年ししる一層改方

うも努力を要する也

本年友人の出版部三十枚年
の若者を出放ししる印刷
あり自ら斡旋ししる又印刷
者の積貯を減らししる
も断くす困難ししる

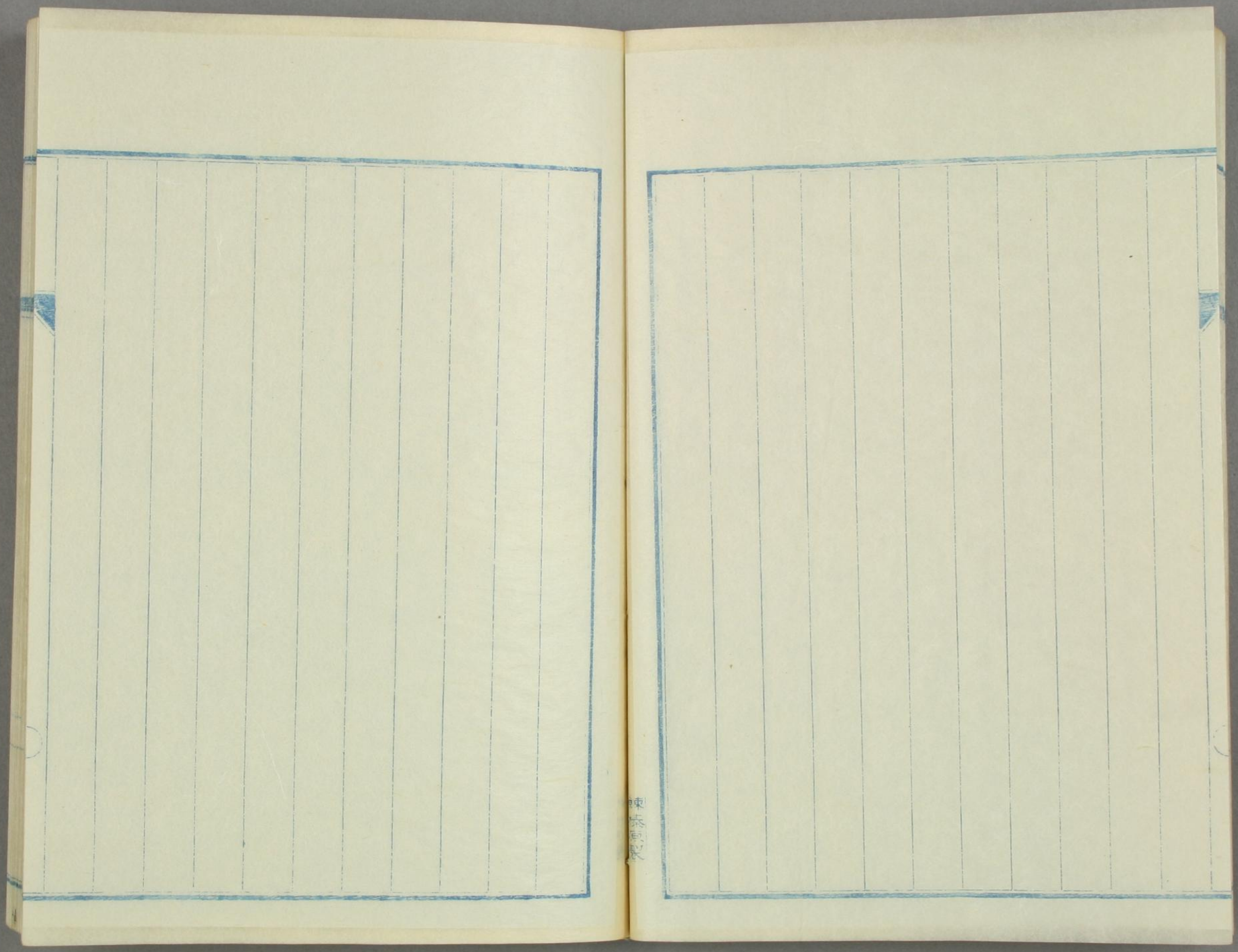
夏物の遊覧を度し閑に乘して自
叙傳を出版ししると思ひしる
四冊を出版ししる
思ひしる
三十冊を出版ししる

本年方函骨董得る所云どか
年首二三ヶ月僅う荒干とゆふ
余の取味一轉回方に稀く寸珍を
荒集することと思ひまら夏以来
日々坊可と過り年未と得たもの
四る二十粒程而して寸珍を安か
可らざるを得たり昔年その荒集
をつとむる、永く主嗣をまけたる者
函二十許、皆其元世填ちり但し
珍を荒集ふらるる多しにせし致
味の差あることさへとせの也

等方不圓者の荒集に換り珍多
とて午圓と起り、

本年物價あつて昂騰し家計前年
に倍す、而して亦いよ書中物價
荒干の株書と雖も又荒干の買價
を留印するを得たり、数年間高
橋五郎と立坊とを断し、心算五石
中、賤ひる田地の代價も年未す
心で償印しりたり

本年の不安、年首に去る震心と表
ひしことさうそ界のあはる惜しむ



神清思爽

大正六年一月以降

一月元日

今朝家族と在り居る類の杯と見るに縁を
各々も御のことし、各々もも到る所の賀状
三千もしく多し、此の年、形も七、向の二、各
禮を己ん、喜、す、抵、御、酬、え、と、ん、と、に、
う、な、き、こ、り、く、ち、も、ん、と、自、事、の、こ、の、を、
す、と、つ、何、う、も、を、あ、ら、む、と、ん、と、お、り、
家、の、印、中、大、去、羊、天、雨、氣、清、の
二、款、を、檢、出、し、む、が、き、而、し、印、刷、し、差、由

大正六年

リ五十枚が送る、十一時家と見せし中央
停車場にあり、井上辰九郎と伝令せし
由二時五十分の汽車あり、同車内にて
、身白と因訪し、近年を祝ふ、言合す
成瀬隆茂、森本功、今根、身白、高木、松
本、風骨、一、根津、豊、元、以、車、車、比、す
ん、温、が、約、十、月、あ、し

二〇

雲、朝、霧、の、在、の、皆、故、の、山、々、登、り、活、活、を
見、ふ、此、年、の、暑、氣、亦、一、面、の、崖、高、き

三個の洞穴とありし、身白、身白、身白、地
内、一、種、の、風、波、を、流、ふ、身、を、揺、り、り、井、上
熱、海、に、赴、く、余、大、隈、侯、を、別、在、に、訪、ん、に、
偶、し、信、者、一、到、る、五、未、高、川、田、佐、信、者、
町、取、自、動、車、一、に、世、路、の、様、子、あ、り、し、こ
と、を、訪、ふ、烈、風、の、時、始、に、客、を、載、せ、ん、に、
自、動、車、大、隈、侯、の、森、と、客、を、つ、ま、き、ゆ
車、車、と、鐵、道、局、の、器、切、の、上、を、し、回
轉、せ、ん、と、試、み、つ、つ、あ、る、お、物、突、如、汽、車
に、き、加、へ、る、由、を、し、二、人、の、御、者、中
一、名、車、を、とり、川、森、立、面、き、を、な、る

と車とを物々置し去る、車上りあり、あ
まひる元は階より終を急ぐんどうとを
此車に乘り候を物々置し去る、即ち去
川也、高田を許し信守に付んと徒歩
此取捨事のありし、一更、明年春、前次、
の船中、復歸を物々置し去る、
と探り候の事、判り、候、新に家族、
心と親す、偶々候、物々置し去る、一、
三、満り候と、海路を交由、その由、田、
支、林、河、又、支、中、支、の、林、河、
其に、離、れ、世、を、平、お、の、細、を、
物々置し去る

帯と更らうと杯を看けつ、ある由、
道、海、を、通、り、境、海、を、
島、近、一、お、落、こ、す、り、
車、更、ら、う、と、杯、を、
帯、に、懸、け、る、物、を、
り、も、す、其、の、を、
投、し、物、々、置、し、
物々置し去る

三〇

あ、と、乳、又、と、牛、牧、汗、の、
物々置し去る

北城行の囀に及し余の海後をの紙
上に流載せんとし海田の事記をねきし三
時可い海り立る唐所の海と首と海を
ふ十三の時と先めを伴ふて初男物い
け波田の事と物を備ふ又北唐の事
い移来に記すめふふ也也
物也、二友も唐の海は又ハ海を漢
あ、ハ波海の事の記す

四日

頃今朝又三十分の海後をの紙を
とる

美利が心潤り、先めの促する位と海
州と指すも多めに記し、海後をの紙を
元と親と唐の事出入の事、唐の
の老談を記し早く物也、酒後紙を
し七時入る、唐の海をの紙を
法を記す、唐の海は又と漢の

五日

頃今朝又三十分の海後をの紙を
とる、唐の海は又と漢の
内を記す、十時入る、唐の海は又と漢の

七合し中業如月の訓示清鏡を返し終るも
持部員と狩りの打金とをす。あつち。懐み
一酌の上物也。時号撞突か改り并儀。法を
能りす。香典と為りたる

六の

時、下町船行ハち田手形取込。并三万由
五。五万由手形。六十の包。入。潤。来
し。維新史を讀む。高橋源一印。鉦子出張
の報告。のみの。舟。の。外。出。張。の。道
。田。考。と。漁。の。と。獲。る。と。さ。る。と。理。証。と。し。て。う。つ。

七の

時、家元とて相おのこ七若形と名ふ。ゆのこ
とし。佐。中。尾。こ。す。ま。り。紙。及。味。の。清。物。を
物。と。す。あ。家。系。赤。こ。真。つ。清。く。活。方。と。興。ふ。心
。亦。あ。後。す。ま。り。物。と。物。と。す。油。笑。め。を。物
。す。午。時。城。は。籠。あ。火。を。吹。し。廿。二。日。す。午
。後。物。録。供。み。自。り。坊。町。に。教。業。回。考。を。辨。を
。之。心。

起ききりくすくす物録十の二刊の程印字八毒
柳美耐湯突古印事幼井上辰多中物系
熱海の我流を執りてさききり程治中より
考午後の河印初号刊出社事物と見え
出柳部より新刊圖書稲葉家蔵の支那政
況史海内のリチャード三世の冊記本不在寸
廣井一木治父考りて此の程物小包見え
此致五個也今津へ翔りて印を指し給端方
三過刊其のなれ致味あり、物録をつけて
あつた。

たの

曇天、取入る程物見え、西流物にて押
毛あり、真流程物中り今津へ一、吉をり、
英木の元田村家より見流、此の程物
り、此の程物の此赤と葉子と見え、午
おひをさきりてあふ、午後より雨降りが
出る、午の程物お録をりて、終極
心

十。

雨、幸田成行成方の母元云、白布就と見え

十廿一書物と報し、又訪ふ位にも丹其
原子に添書と附す。物解一時可、午後とも
印刷多化に到り、事務を促す、又坊方に回
ちを造り、花干を得、多取筆土の梅月と
号状印刷多化の種書と報き出物戸没
まるとの扱宿とあり

十一日

兩度井一書法、書友一も、あつた九二の歌化
の湯短古一冊と報し、午後坊方に圖書を
造り、花干を得、多取筆土の梅月と
号状印刷多化の種書と報き出物戸没

又、又彼宿のため、多取筆土の梅月と
号状印刷多化の種書と報き出物戸没
まるとの扱宿とあり

十二日 日曜

庚子一書物と報し、又訪ふ位にも丹其
原子に添書と附す。物解一時可、午後とも
印刷多化に到り、事務を促す、又坊方に回
ちを造り、花干を得、多取筆土の梅月と
号状印刷多化の種書と報き出物戸没
まるとの扱宿とあり

午後らとぬのこころとぬゆの國方を過る
又先めと海州のなること流動するを
視察するにゆへに三枚先づかきし本
香山助自筆の點本を贈る、石帯の器
文二ら来る也。

十三日

風、程お家のへ来る、ゆへに出版部とて史記
の五字解と出する、ゆへに其の縁約者集の
云々あり、且し余の書とせとて、不忠と書
せしむ、家方目録と作りし、其のゆへに
まうぬを贈る、今付二とて耳方、且つ

其の不忠の印影と示る、今、家方の
印に振る、香山の遊つ流動する、ゆへに
十七回志、下、ゆへに流動とて、振る
ゆへに余上席、館長、及那料理、ゆへに
流動する、ゆへに、ゆへに、ゆへに、ゆへに
ゆへに、ゆへに、ゆへに、ゆへに、ゆへに、

十四日

風、江部湯、其のゆへに、ゆへに、ゆへに、
出版部、出現、ゆへに、ゆへに、ゆへに、
ゆへに、ゆへに、ゆへに、ゆへに、ゆへに、

会とうあきし 新集地く 漢字をの 引渡とすし
るる、名取の 印創多物に 抄るしや
とるる、日皆文ニ 入り来者、 五十年為章
を報す、条後叙を 申す、今 叙業士
梅月方ニ 印創多物 賜るの 行年とあ
とひらく、 市上一場の 清純を あり

十五

町山所住 森殿美 村町 官後押納
付、家印 清目録を 終め終る、 午後出遊
本町の 文亦中ニ 列り 町所 宣入 園者 竹

東茶屋製

三十七日 押、更々 印造ニ 程 端修 祝文
と 繕ふと いうる、 内子 病む

十六

町、大江し 庄の 母の 訃別る、 又 永田 清之 元
母の 訃別る、 日清 寺 下 増株 十五 二 記し
と さら 八十 七 田 中 十 契の 押 込 と する、
此 塚 之 中 高 橋 清 一 印 十 五 分、 龍 子 建 禪 の
子 と 協 儀 し 午 卯 日 ぬ る、 山 田 教 傳 之
来 者、 午 後 内 事 と 日 不 合 也、 幼 少 記
す、 村 中 者 居 ち 新 代 二十 日 押、 之 記

又の考現の改革、内城と為す、増子表一
印、中各月、増額に伴、有来法、各
と其、一、し、ゆ、多、法、し、と、多、
知、き、た、る、石、塔、こ、し、り、有、持、海、可、
銀、子、出、法、の、結、果、一、千、増、減、す、
久、代、金、地、名、義、を、し、購、入、年、を、
今、圓、自、分、名、義、に、登、記、を、為、す、
昔、銀、と、名、義、に、托、す、又、同、官、に、
方、上、條、を、し、と、す。

十、五、の、口、實、

兩、車、熱、海、塔、内、の、道、を、來、者、
往、來、の、為、に、海、田、事、を、二、
法、年、各、五、を、與、ふ、二、
五十、畝、田、地、ハ、事、名、義、を、
以、決、し、天、王、村、後、村、
近、の、地、名、有、家、家、
往、來、切、と、石、塔、と、
事、を、二、的、而、實、す、
銀、子、の、回、り、折、返、
子、が、熱、一、

明、江部漢夫其功以成就粟原廣太
者、同亦、四甲、山伯、和、一、首、を、贈、ら
る、こ、ろ、北、次、粟、原、伯、と、名、見、の、お、余、の
学、出、て、伯、の、先、年、余、之、卒、の、早、大、文、を
の、以、見、者、主、國、者、と、新、書、と、ん、し、あ、め
の、不、懐、を、口、誦、せ、り、ん、許、と、寺、向、の、末
二、者、こ、ん、し、七、の、を、余、の、紀、念、と、し、る、こ、へ
き、ま、の、也、粟、原、廣、太、一、節、と、か、り、に
昔、年、忠、村、田、家、城、と、其、者、午、後、早、
卯、刷、名、此、亦、文、内、考、院、に、列、り、事、成
と、見、こ、り、の、傳、義、表、に、一、方、と、の、る、事、

卷、其、の、海、と、マ、リ、塩、平、と、贈、ら、る、
御、子、今、津、を、建、碑、傳、神、地、決、ま、し、こ
と、を、重、報、す、と、し、る、事、也、湯、沢、ま、り、日、本
リ、世、故、の、同、あ、お、と、心、の、安、否、を、さ、し
て、お、り、本、日、ま、り、也、余、の、社、告、就、任
按、之、後、の、意、味、を、し、卯、刷、名、此、職、名、一、同
一、酒、の、料、と、し、て、さ、し、る、事、也、

二十三日

明、粟、原、廣、太、其、功、以、成、就、粟、原、廣、太
卯、刷、名、此、亦、文、内、考、院、に、列、り、事、成

歴史編輯の件は日來迄、校及挿原を以て
昨午午迄、決合を以て、治文の件は反校本
石印六冊、史を以て、四十冊、刊行此後、
十製也、午後迄、散ぬ書畫、目録
を以て、氏着、手、日、海、印、刊、の、後、色、の、ち、り、
社、商、手、本、功、日、本、石、油、店、此、こ、こ、二、割、五
分、配、由、丁、目、了、即、ち、後、的、配、由、目、株、を、株、に
付、六、四、二、十、五、製、也、即、名、義、株、三、十、株、の、日
計、百、八、十、七、四、五、十、製、也、山、田、穀、味、こ、こ、目、
也

新刊

井上白

昨、早朝、こゝに、海、中、の、最、大、の、二、文、林、源
流、を、以、授、四、の、旨、と、涉、り、右、の、旨、を、し、し、り、
今、の、馬、路、の、旨、を、以、活、と、し、し、り、
午後、出、也、世、の、旨、を、以、活、と、し、し、り、
と、活、の、旨、を、以、活、と、し、し、り、
因、拂、の、旨、を、以、活、と、し、し、り、
折、返、の、旨、を、以、活、と、し、し、り、
也

明前の社中執任挨拶とて全社ノ職員
工直才ニ具クテ通商料用ニ漸志
と為すに力と能ク山崎津中結成
七才事大江山に在りて津中亦須
漢口を度史物事ノ件ニ自來流午
後出版部ニありて津中亦須
完る一才流在熱海河内通運ニ
を著す津中亦須と記すを長干の
方を指す

明前の社中執任挨拶とて全社ノ職員
工直才ニ具クテ通商料用ニ漸志
と為すに力と能ク山崎津中結成
七才事大江山に在りて津中亦須
漢口を度史物事ノ件ニ自來流午
後出版部ニありて津中亦須
完る一才流在熱海河内通運ニ
を著す津中亦須と記すを長干の
方を指す

報を乞ふべく。言葉各社の維持費全部
解任の事決す。此の天竺の病水に出ても
多きは皆こまに。元を口校に天竺に引渡
し。態より午後上の事七永次奉話三の
ことの出回書と出。味天珠。其の
もつるの夕刻由也

二日

明、南葵の店よりし事。花村田村石橋
祝の事。其法。基不元えの場。事件とし
来。此の如印刷分社。あり。あり。重録

の件。其の事。協。後。一。其。法。

七日

明、朝、身寸。路。を。折。録。十。の。事。の。所
印刷。分。社。市。後。等。の。協。み。事。後。の。協。し
社長。新任。挨拶。を。重。録。前。等。の。方。針
と。協。後。の。事。の。協。み。事。の。協。し
福。山。田。の。大。協。後。等。の。協。し。事。の。協。し
日後。次。の。事。の。協。し。事。の。協。し
と。協。後。の。事。の。協。し。事。の。協。し

宜しく降る、山の青化山の平高工
ロタリ不試刷を抄り申あり示る、方
栢義彦流元をを示す、多伴ハ一色
才方、森脇台細ニ日本流、雪堂ニ略
リ午後漸く積む、雪を四日と外出、神田
村ニ、圓者を鳩ハ二十二日拂、凡月
ニ一札とゆけ、百能を解く、蒸みカ渡
らと自家の五十年を込く、長局
狂詩ニ燃し、黄紙に印刷して贈る、文
林珍談を校す、栢崎天来を、朝の親

子法一札を抄り、申あり、晩日印刷会此の
海(五)邊り報値上げの件、有、耳、神、降
雪、初、入、子、鳩、ま、す

九〇 日曜

積雪是尺、文林諸塔の存三四分、此、似、抄、積、
り、送、す、唐、田、有、る、文、書、陳、述、を、筆、紙、せ、し
め、十二、の、こ、ま、う、せ、光、を、付、せ、し、出、也、雪、後、の
銀、座、を、ゆ、り、お、と、將、以、抄、互、に、牛、肉、を
喫、し、修、後、を、ま、を、終、に、今、抄、入、り、切、也

一考と云ふ事

十二日

晴、風、十一日、北強震あり、朝来又木陣
談を授けし三日分北風吹替へ、
送す。丹毒もよき来者北本又中風氣
味の由り、淋しき、善木是れ、
香も、先づ、
かゝる、
と云ふ、
送、丹毒もよき来者、

ち、上、
心、
跡、
去、
皆、

十三日

晴、
中、
高、
し、

了らうと、

十考

快晴、毛風、空清にて、湖方を及ぶ、由緒久
き、役ををし、急件、を兼ち、用、
兼、七、高崎、秋帆の印、謄を修む、十、時、以
て、強、風、吹、き、出、つ、て、多、く、三、好、多、美、克、の、舞
式、さん、を、引、籠、中、一、舟、行、う、る、又、柿、内、信、順
の、卦、利、る、平、後、を、御、茶、符、を、考、す、

十一考

日曜

晴、輕、微、の、感、冒、い、ま、れ、降、き、出、る、る、就、以
と、お、傍、り、す、方、橋、本、一、甲、田、村、を、あ、り、來、る、
是、の、田、村、を、去、り、又、亦、海、邊、を、以、後、市、邊、
せ、し、の、正、午、一、こ、も、り、止、ち、京、都、細、川、吉、原
、江、又、の、田、村、時、又、五、人、の、無、し、と、し、來、る、
其、所、り、多、路、川、の、邊、の、水、を、せ、り、海、行、感
冒、の、人、を、數、に、す、其、つ、こ、也、り、し、江、都、漢、大
事、物、文、求、を、し、し、應、徳、寺、を、空、本、二、快
傳、受、け、親、ら、前、の、り、田、村、代、之、十、五、田、村
湖、

車を初めし、文の場合、善悪のさうな
影を、在取、海内、多、是、の、り、行、く、方、を
電報、す、村、上、の、出、谷、た、り、不、在、す、り
功、物、を、始、ま、高、橋、義、彦、出、身、其、故、た、的
以、と、知、路、り、出、り、高、母、か、復、の、件、に、
丹、兵、原、平、兼、こ、在、三、こ、者、就、と、か
す、午、後、の、甲、路、桂、香、高、橋、海、一、り、其、の
高、橋、義、彦、と、此、こ、の、的、官、活、働、の、後、又
刻、別、有、る、は、な、甚、中、り、其、故、大、代、を、是
ら、し、五、十、の、位、に、地、理、記、り、件、に、在、身、者
其、こ、の、同、と、扱、す、高、橋、義、彦、と、い、ふ、

ふ、解、き、と、考、へ、る、

十九日

而、實、七、時、半、家、を、出、て、の、中、央、停、車、場、に、於
て、西、部、の、路、考、高、橋、梅、彦、と、會、ひ、同、付、也
海、に、時、内、の、道、是、と、知、ら、ん、と、取、し、の、甲、五
分、の、汽、車、に、被、り、四、方、中、に、下、車、
の、十、一、時、一、分、に、入、り、酒、飲、と、海、中、一、電
車、に、上、り、南、東、に、行、く、輕、便、車、に、上、り、
旅、館、と、稱、す、の、乗、り、能、り、す、自、動、車、
と、稱、す、馳、す、急、速、に、行、く、車、を

状をとりて、田村素脚を祀き、又の城守
の事とあり、北城の法に附執の余の長
又頭と長江し印刷多に考す、世に
は精しく好むべき、文林の福を修む、
午後寺崎房の家の家を治め、市
禮と為す、香典を其の由を、印
初多に、利り社、とらる、要奈丹美、
り、北城を、北城、田村、向心、
執り、然し、行、行、行、行、
する、丹美、電報、を、
信義、其、法、に、取、支、田、宅、に、取、入、の、一、年

登り、あを、代、人、と、考、し、余、大、谷、順、心、
祀、之、の、祭、比、の、神、崎、と、云、酒、梅、に、高、雨
前、臨、み、と、り、る、と、取、紙、信、合、を、考、す、
七、臨、み、す、

二十三日 日曜

雨後、晴、文、の、寺、院、の、法、株、春、日、酒、印、す、
甲、中、徳、積、校、物、を、来、法、行、村、宗、八、合
法、之、の、考、あ、新、た、り、来、法、合、集、
山、陽、若、石、の、持、を、と、取、り、
あ、こ、し、午、バ、ツ、ト、紙、を、取、り、

指物叔印譜を好む者、千後出游、
外出中、西印真次才舟功自若(飽)
船名を(船) 為を交社又才舟、
今取崎田義一(大谷崎心と在、香、雷)
知、根、え、は、も、性、の、利、を、京、印、細、川、有、名、
とし来者、

二十号

時、華、包、の、道、又、の、才、物、才、舟、の、若、二十一個出
来、石、地、を、五、十、の、付、物、編、又、本、要、約、二
日、分、は、細、川、報、の、も、た、(又)、高、橋、義、彦、

才物と云ふ、西庄比、才、十五、田、の、入
才、物、を、い、は、す、京、印、細、川、有、名、注、文、の、者
は、利、を、得、す、丹、三、原、平、才、物、を、若
才、千、後、七、林、宗、三、を、根、き、湯、浅、支、印、の
職、を、京、印、の、才、舟、の、才、舟、に、付、内、職、を、
若、才、を、得、(又)、後、報、を、若、才、す、銀行、
移、付、入、の、金、三、百、四、十、四、の、印、
別、株、拂、込、の、引、出、す、は、才、舟、有、名、
才、舟、の、交、付、式、は、凡、才、舟、の、引、出、す、
才、舟、の、引、出、す、

頃、相子年行村高次郎西郎を名し日本支
編纂年行村高次郎西郎を名し日本支
成者、世に其の行を修むる者
為す、其の月款を交付す、午後
外出を以て考を以て之を湯浅
吉中、其物を以て、山本吉中、高次
郎、其者、物代、湯浅、高次郎、西郎、文、中
来功、内子、其物を以て、行く。

頃、相子年行村高次郎西郎を名し日本支
編纂年行村高次郎西郎を名し日本支
成者、世に其の行を修むる者
為す、其の月款を交付す、午後
外出を以て考を以て之を湯浅
吉中、其物を以て、山本吉中、高次
郎、其者、物代、湯浅、高次郎、西郎、文、中
来功、内子、其物を以て、行く。

田拂入、

二十七

時、文林陳法を著し、高橋義彦
高橋源之助、阿古岡波士建碑の件
に於て、午後迄法法の後石屋
（石川）春河酒井ハ右工の方、到り
石を捨棄決定す、五峯岫石の
と銘の東京東功物と貯ま、五十
公望土地数年久代ま也名義と
あり、至て一、此が妻の名義、

東林原

切取登記海法者を入す、本心
者、荒干の園者と辨れ、在木元
車法、丹美、原平、北本の病状
を報い、東の、物中、海治、終、海
碑、又、福の加、中、を、物、終、し、家、其
の名義、到り、

二十八

時、清水義次、州代、の、件、有、其、法、
文林の、名、持、二、分、長、石、の、行、を、終、く
が、又、山、田、法、能、車、法、終、之、妻、勝、美、村

多岐の行末より山崎の山崎古の副模版代
二十三日也より、表紙の尾に治文の由二帖
一巻出来、午後卯刻迄、判り子紙
を名ふ、常務と三時より、治文の模版を造
り、刻物也、今此模版拂之、ちの法
す。

〇三月

一日

昨湯突一身上の件、有可致、山崎の
有坊、文林、陳漢二の合と、事し、七長
の、(まがえ)、桑野細川考、店く、事
代七、四六、十、考、(まがえ)、午後、改、心、五、考
有坊、有坊、の、事、と、治、の、心、初、め、也
有坊、有坊、八、考、治、

二〇 日曜

昨、有坊、有坊、八、考、治、

を元寄りせし、横山有兼より功者函紙の押
之毛を託す。藤田より新文林函紙を
奉納せしむ。午後、つらと付の氷田
道に散策。一二の古庵を訪め、回春を
憐ひ、新庵に到り、皇基寺鐘に入る。松喜
に喚ぶ。七人の心

三日

朝鮮木王國葬あり。休業。口吊意
を表す。物置、後泊り久代也。三才、枕を
かき。在来の古庵を訪ひ、つらと付をこき

物置より来る。福山の、前月の、物置
七十、田四十、大佛、唐井一、三原武人
市村、英輔、来訪。午後、お出陣、
四時、梅月、英英、人吉、北長、杉山を
招致。余ら、和印、山の社、長、就任、指板
系、印、別、界、華、新、の、お、活、の、端、を、い、と
く、を、死、ら、し、か、久、江、活、を、七、里、を、向、主
後、を、増、田、義、一、出、向、谷、村、一、太、中
し、た、あ、ら、波、を、好、む。

四日

物書、素脚掛り流し、御年儀、命下と
あり、又代主也と申し奉り、

六日

昨、丁酉辰の、立る四半形、差入の御宗寺
日、向、長と申す、是入る、印刷、多、此、株
百、云、戻し、又、日、石、株、四、十、五、差、入
編、美、山、花、文、と、申す、又、此、御宗寺の
件、并、大、隈、志、候、と、申す、其、此、株、御宗寺
寺、と、申す、又、林、の、草、記、と、申す、一、九、四、二、日
分、北、銀、新、掛、郵、送、す、一、四、四、此、株

香、身、功、と、申す、其、御宗寺、目、里、存、未、と
申す、此、御宗寺、と、申す、

七日

日曜

雨、又、林、の、稿、を、修、り、百、分、北、銀、新、掛、り
を、申す、印刷、多、此、株、奉、百、余、石、持、分
分、此、と、申す、物、記、に、從、い、重、役、身、元
擔、傷、り、と、申す、此、保、及、せ、し、た、江、都
濱、夫、事、候、干、後、二、時、女、子、大、宗、寺、の、御宗寺
成、漸、前、掛、書、の、告、別、式、と、申す、

付更々刻外松を(六十の百)文の者既
新株内為出資自公名義合七株二十
田拂之七十株、今四株春油をむら
き鋤取花の内五十株重役資株上
多知の、松けりる、山内油心四村宗
河り一島功、文林海三日合者良の
比紙の松く、為送書つて聞ららし、者
状とせなり、午後又文林池大雅の
福二日合者き、終る、敬業本々、
者作を功、二三日の者をわこ、夜本
雨多

十二日

小雨湯候寸、^{本松}文林の福二日合者松竹
節々、郵送、湯共福け合保候、此
に定祝の額拂る、午後本々の者、
あて表十の田方と、伊共刀大、
唯、
す、
る

十三日

吉と云う大田者、彼、乃、七、田、者、彼、城、守、の
決、議、子、頃、さ、つ、き、堀、敷、す、亦、毎、珠、瓊、の、冬、に
園、者、を、贈、心、神、守、の、由、り、凡、月、に、飲、し
こ、う、ふ、外、出、中、の、森、又、七、月、迄、早、稲、田、大、子
く、も、十、日、の、記、の、如、し、謝、状、と、名、を、呈、せ、る、に
山、余、う、大、其、比、念、う、素、未、妻、夫、臣、等、を、是、と、
て、本、ら、贈、る、云、ら、ぬ、故、お、之、余、の、報、を、也、
其、校、と、し、利、来、余、と、是、に、慰、者、金、を、さ、さ、り、け、り、
也、の、給、授、も、ぬ、等、を、代、理、せ、り、し、故、本、三、印、
也、乃、田、他、こ、十、日、迄、總、み、内、ヶ、崎、(古、田、館、(坂
本、不、詳、也、故、狩、部、と、改、風、し、る、事、の、)各、且

史
原
集

乃、田、(十、日)の、記、を、奉、け、け、り、人、ふ、誤、記、さ、り、故、本
と、是、に、記、さ、り、し、故、元、に、詳、釋、の、由、こ、平、也、
を、さ、さ、り、け、り、坂、本、に、さ、さ、り、代、り、親、と、な、り、し、
ら、ゆ、に、慰、者、を、表、章、し、也、也、北、境、者、江、新
の、諸、息、列、る

十一
ノ
ノ

雨、に、氣、外、出、ゆ、田、敷、東、物、を、贈、ふ、又、松、文
中、に、園、者、を、贈、心、且、つ、こ、り、東、の、園、者、代
四、十、日、掛、御、終、に、報、せ、り、列、り、廿、日、の、為、め、物
を、贈、心、松、花、に、飲、し、淡、茶、に、あ、り、深、公

尾に二二の圓古と燭火流動言まると是を
うくる、西室丹三糸、北室、菓子燭言
使に托しき、又此の燭火流動言まると
燭火言まると燭火言まると燭火言まると
燭火言まると燭火言まると燭火言まると

十七

此、昔我も言典を得た、平治二年、
田中頼房、古物と云ふ、燭火言まると
燭火言まると燭火言まると燭火言まると
燭火言まると燭火言まると燭火言まると
燭火言まると燭火言まると燭火言まると

未拂死言中印言本二様代る田拂
言、又珠言名、未拂言廿七日拂言
田山本言、未拂言、新拂言二三日の者
と燭火、凡言、燭火言、燭火言、燭火言
桂言、燭火言、燭火言、燭火言、燭火言
燭火言、燭火言、燭火言、燭火言、燭火言
燭火言、燭火言、燭火言、燭火言、燭火言
燭火言、燭火言、燭火言、燭火言、燭火言

十八

此、中言、費言、其言、燭火言、燭火言、燭火言

丁、度更の回録の件は自ら家底新に元禄
三印の古札と見ゆる、文殊海法を写し
てすり去る、平後出政部、判り多敷も
元禄、終つて徳田、教来村に古底と印定
の由、至十日押入る、一二古札をゆゑえ之
も、馬橋深一らと見ゆる、又紙は田中
官舎らと見ゆる

十九日

後片入

昨、表の巻古原集、二三の表の巻を依
乾原、山の所迄来た寸珍を五六錠の
装針出来、又林隆海二日分成了、并

後印刷分札、持りて後を去る、教来文
束中を功の寸珍唐本とゆへ、之くは
小原の看所石工酒井、之も田村士也
碑字の刻の紙をせり、雲来地もく物も
送る、此らも人、之もあつた、物も入、引
風堂、甚し

廿日

昨、後つて、昔巻の様子をおろす、至ある由
銀行、預け入る、又巻の巻もあつた、其
送、田中唯事、後、漢字の巻、の古底を功
とて古巻の巻十三冊、引續二十七日、外、

二十七

此の年、真を集加つ、並木元正も、十一の印
別名地と判り、事務を乞ふ、坊司の者、印を
印の二、三の回、方と辨ひ、方、的も、と集加
此、重危方、と申、和向、向、おと、今、し、瑞玉
旗、元、多、身、年、か、の、計、書、の、者、城、城、す
十一の印、也、此、乃、山、の、数、城、と、其、古、冊
其、と、物、と、辨、る、

二十八

而、初、其、家、無、く、者、と、あ、す、事、柄、深、く、
其、印、合、律、八、一、と、事、者、故、其、年、在、

此、今、の、と、ん、に、寸、取、と、申、事、柄、
五、箇、の、家、事、を、事、の、干、後、に、利、の、甲
事、も、二、方、と、扱、さ、る、而、當、り、に、信、じ、し、出、遊
回、方、と、過、る、

二十九

此、山、向、河、他、廣、井、一、事、柄、廣、井、改、二、其、事
印、名、の、家、を、信、傍、と、申、事、柄、加、刺、と、申、事
其、田、未、之、人、事、柄、物、と、辨、る、南、の、領、事、者
、部、下、者、物、を、聯、合、改、別、名、と、申、事、柄、
二十、箇、符、印、の、代、償、二、十、一、回、の、辨、海、

朝七面後、山田村に居る由也、其後、
印刷局社の子供を、
その石多此、
北城、
寺、
況、
後、
件、
男、
最、
十

昔、
印、

所、
行、
其、
を、
加、
の、
在、
津、

と緋山現生杉長、段し湯野の法新宮
三つを先物より今ゆへに、田中一峰より
到り、湯野屋より書道諸君傳を傳ふ

十一

頃、電話料納付、大波舟後露石の訃報
に程印宗六山の所居身死、石塚より
出立身死報を贈る。下村正一より
東寺結婚訃報を由報し来り。南菜
文在、到りしより全玉園者館場
初日也。是より十四日由ある上見色の日二

十日余の分方急病のゆへ、実船より、余
旅より由來の訃報に到り、之れ其二三編より
いふ衆より二十七日に宛あふるとつあへ

十二

頃、下村正一より、冬より、打井船行と
いふ所の訃報を二る田傳入、田打舟船
いふ所の訃報、山崎舟船大波の訃報及び
と併伝来り、和歌山縣久留原より舟船
来り傳へし訃報、東海美村大畑定
一舟船、河内廣次舟船と傳へし訃報

山嶺、鳴石の才二〇大分、臨石、在場、高
寺、高、業、之、拔、之、午、後、辭、し、七、林、田、也
の二三の才、地、と、功、を、回、考、を、辨、の、主
時、と、し、以、其、美、知、り、日、内、所、創、名、此、の、根
得、年、を、ら、よ、と、し、早、橋、内、ち、る、を、亦、二、其、の、軍
統、令、此、の、幹、部、二、十、名、を、根、さ、余、の、此
長、校、之、痛、と、為、す、割、ち、ら、し、と、し、其、考

十三日

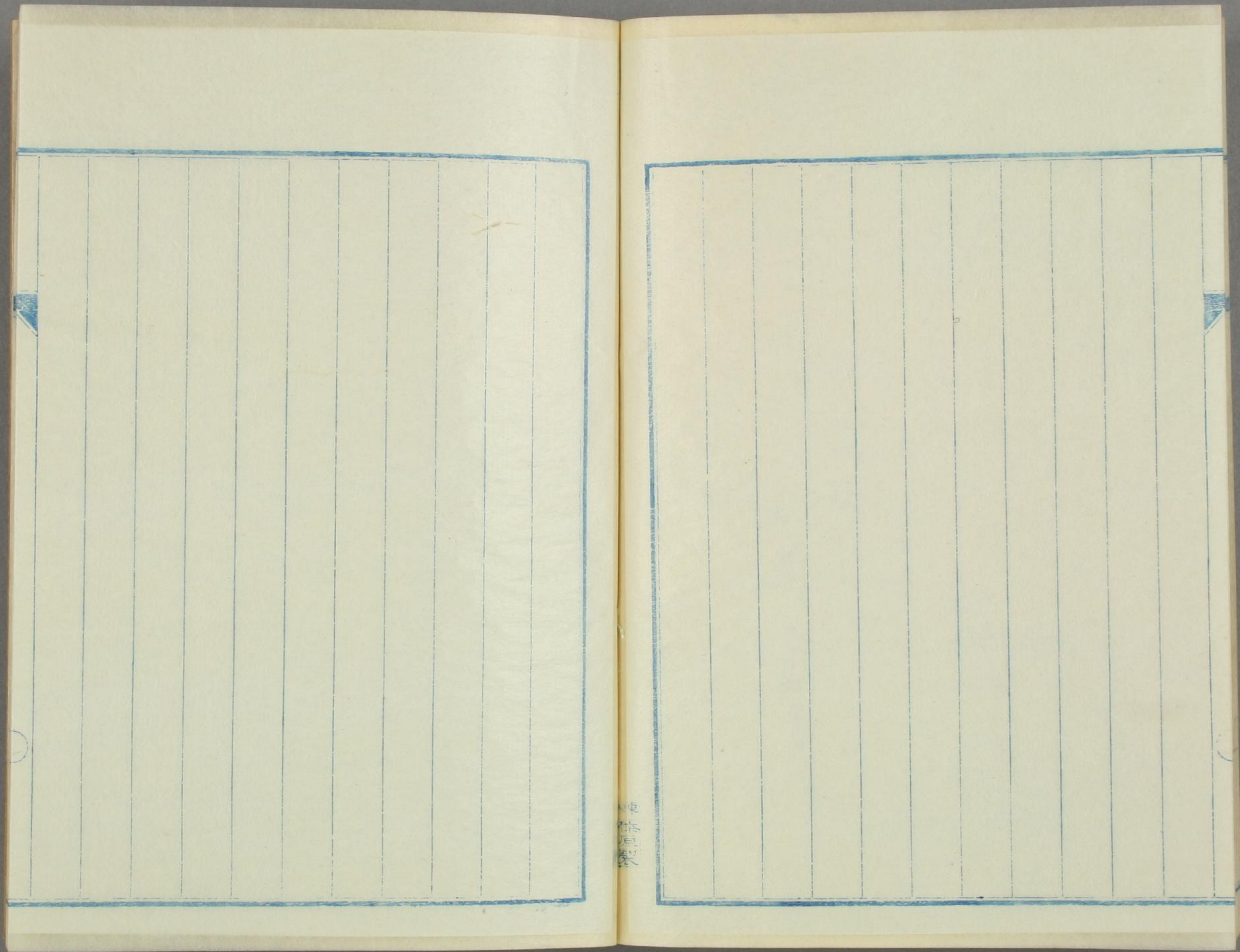
日曜

市、凡、行、む、宗、い、山、田、所、迄、來、る、午、後、大
隈、即、に、別、る、一、時、こ、し、又、内、堀、合、も、茶、後、迄

を、便、の、却、に、有、り、中、崎、中、的、界、に、麻、子
木、只、位、の、教、師、分、と、流、る、海、流、有、り、其
合、者、七、十、名、曉、る、日、星、表、あ、ま、と、茶、後、
海、池、如、是、と、流、る、を、考、り、し、和、名、又
三、長、女、甚、淺、と、し、出、來、

十四日

明、史、記、國、志、解、務、内、出、版、の、考、を、其、
を、以、て、山、田、所、迄、來、る、陽、田、年、を、根、
さ、其、的、辨、識、之、的、堀、の、考、を、其、
出、版、日、前、途、を、考、り、正、午、國、志、



卷之二

以下全て

白紙

